

シンボル絵画を制作いただきました



期 間◆12月3日(火)～12月25日(水) ※月曜日休館
場 所◆美郷町学友館 第1展示室



町の鳥:雁
お お こ じ ま ま き
大小島 真木(現代美術家)
「雁の道(かりのみち)」

制作にあたって

かつて「雁道(かりのみち)」と呼ばれた土地があった。渡り鳥である雁の故郷へと思いを馳せた人々が夢想的に描き出した架空の土地だ。そこには世にも立派な龍王の宮殿があり、多くの龍たちが棲まっていて、その龍たちは人に化けることができる信じられていた。今日、私たちは雁道が本当は存在しないことを知ってしまっているけど、かつての人々が渡りゆく雁たちの姿に重ねた、未知への憧れと畏れなら私たちも感じることができる。移りゆく時の中で、不透明な未来へと向かって生きている私たちは、地図も持たずに幻の雁道へと翔けていく、時代の渡り鳥のようなものなのだから。



町の魚:ハリザッコ
し ぶ や し げ ひ ろ
渋谷 重弘(洋画家)
「魚影 -ハリザッコの清水-」

制作にあたって

町の魚「ハリザッコ」の作品制作依頼をいただきました。私が六郷出身だから…、ということもあったと思います。実は、ハリザッコをじっくり見たことがありません。ハリザッコそのものを描く方法もありますが、図鑑ではないので、構図は相当悩みました。

令和5年6月下旬に六郷地区の清水を、町の職員とともに数カ所取材しました。私が六郷で過ごしたときより、きれいに整備されていることに驚きました。また、清水の数やハリザッコの生息が確認できる清水が減少しているとの話も伺いました。

取材した中から、昔からの風景や環境が残っている「藤清水」を選び、この清水の中をハリザッコが泳いでいる姿を描くことにしました。描いていく中で、ハリザッコを何尾描くか、これも悩みました。彼らは群れを成しているわけでもなく、数匹だとさみしい感じもある。町に作品を引き渡すギリギリまで悩み、結果、5尾にしました。深い意味はありません。副題として「魚影-ハリザッコの清水-」と付けました。

私たち人間が思う「きれいな清水」とハリザッコが思う「きれいな清水」は、環境の面で大きく異なると思います。単に水がきれいだけでなく、生きていくために必要な生物や植物がバランスよく存在しなければならないと思います。ハリザッコの住む清水は、まさに「共存共栄」を示しており、これからの美郷町の未来を示している、あるいはお手本にしたいと言っているのではないのでしょうか。

美郷町は、昔からの自然がたくさん残っています。これらを永く、大切にいただきたいと思います。



ミズモの
クリアファイルも
ぜひご利用
ください!

町総務課 秘書広報班 ☎0187(84)1111



— 「赤松」「ラベンダー」「雁」「ハリザッコ」をモチーフに —

美郷町合併20周年記念事業により、町のシンボルである「赤松」「ラベンダー」「雁」「ハリザッコ」をモチーフとして絵画を制作いただきました。美郷町学友館にて公開しますので、ご鑑賞ください。今後も、特別展の開催期間外に公開します。



町の木：赤松

やま だ み ち お

山田 美知男(日本画家)

「松龍(しょうりゅう)」

制作にあたって

町の木、赤松の作品制作依頼をいただき、春から色んな松を見て歩きました。

普段あまり気にしていませんでしたが、種によって樹形や表情が随分違う事にあらためて気が付きました。赤松は伸びやかで幹の色や葉の色が鮮やかです。この色が際立って見える初夏から秋口を取材の時期に選びました。美郷町を中心に落ちていて写生できる場所を探し、飯詰竪穴群の松林にたどり着きました。下見をしてイメージを膨らませ、本格的に取材できたのは暑さが和らいだ秋口でした。県内では熊の出没が多発していたので、ラジオ、熊鈴、熊スプレー、熊槍、爆竹を持って取材に出かけました。たくさんある木の中から生き生きした形のものに惹かれ取材をはじめます。方々から熊出沒を知らせる防災放送が聞こえてくる中、徐々に夢中になってその音が気にならなくなります。背の高い松林がサラサラと音を奏でながら風に揺られる姿が印象的です。日が傾き、幹や生い茂る葉の間から顔を出す太陽が赤松の色彩を際立たせてくれます。何度か足を運びましたが、霧の中、天に向かってそびえ立つ姿が強く印象に残っています。朝霧から飛び出し、太陽を目下に天に向かって体をうねらせる龍の群像を想像しました。



町の花：ラベンダー

なが た も え

永田 萌(絵本作家・イラストレーター)

「ラベンダーの花咲く頃」

制作にあたって

通常、カラーインクという画材で「花と妖精」の世界を描いていますが、今回は褐色の心配が少ないアクリル絵具を用い、絵画的な手法で描いています。作画のご依頼は、子どもたちにも楽しんでもらえるような明るくファンタジー性の高いものを期待されていると理解していますので、実際に拝見したままの美郷町のラベンダー畑の広々とした風景に、20人の妖精たちを配しました。

美郷町の皆さんがそれぞれが果たせる限りの力を出し合って町が形づくられていく様を表現したいと考え、“町制20年”への思いを妖精たちに託しています。

**20周年記念品として
素敵なシンボル絵画4作品を
クリアファイルにしました!**

本号と一緒に各世帯へ1セットずつお届けしています。

問●【シンボル絵画について】美郷町学友館 ☎0187(84)4040 【クリアファイルについて】